

令和7年度 第1回 城北小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年4月24日（木） 14時30分から16時30分まで
- 2 開催場所 城北小学校 会議室
- 3 出席委員 岩井弘美子、川嶋 正幸、中川 勝夫、高柳 理子
中川 智博、清水 裕人、紙上 理恵、高田あゆみ、石坂 紀子
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 大野木 龍太郎（静岡大学）、井下 俊輔（青少年の家）
森下 和之（高台協働センター）、鈴木 皓介（高台協働センター）
- 6 学 校 土屋 憲司（校長）、太田 礎子（教務主任）、田村 静（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 田村 静
- 9 議長の選出
太田教務主任より、議長の選出について意見を求めたところ、川嶋委員から岩井会長を推薦する旨の発言があり、全員異議無くこれを承認した。
- 10 協議事項
 - （1）学校運営の基本方針について
「やさしさ」を形にするために
 - （2）夢育やらまいか事業（CS加算分）に対する意見書について
 - （3）いじめ防止等のための基本的な方針
- 11 会議記録
委員総数9名のうち8名の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告が太田教務主任よりあった。（中川智博委員 遅刻）

（1）学校運営の基本方針について

○「やさしさ」を形にするために

校長より、学校運営の基本方針についての説明があり、委員からは以下の発言があった。

～グランドデザインの簡略化・総合的学習（探求学習）の時間の指導計画について～

・グランドデザインが分かり易くなった。探求学習のテーマ内容は良いが、委員会毎に分かれて活動することについて、違和感がある。（岩井会長）

→テーマは1つだが、今までの学習内容は継続。授業時間（70時間）の半分を充て、総合的学習と委員会活動を統合化する。教員側にとっても探求する機会にしたい。

・教員自身が自己研鑽に励み、子供たちの心を動かす存在であって欲しい。複雑に考え過ぎていられるように思われるので、もっとシンプルに追及して欲しい。（中川智博委員）

・学校方針が素晴らしい。学校で教わった“やさしさ”をどこで表現するのか。授業の成果を実践する機会が欲しい。地域に還元出来るようになれば良い。（川嶋委員）

・教員や地域の大人が場を提供して共に動くことで、子どもたちは日常的に主体的な行動が出来るようになる。一例として、生徒（青山君）の草取りの件を挙げる。（高柳委員）

・地域がフラットに入っていけるようにしたい。（紙上委員）

・PTAが介入すれば、子どもたちだけでなく、保護者とも繋がりが持てる。PTAとしても子どもたちに達成感を持たせたいので、助力出来れば。（石坂委員）

・総合的学習に注力することはとても良いが、高学年中心のように思える。低学年のころから素地をつくることが大事。トライ＆チャレンジの精神で子どもや教員が同じ思いで取り組めば、何かが変わるであろう。（大野木さん）

・総合的な学習の時間において子どもが動くときは、“感動”と“矛盾”を感じた時である。そのような場を子どもたちへ提供する輪が広がれば良い。委員としてできることを協力したい。（岩井会長）

協議の結果、全員異議なく、承認された。

（２）夢育やらまいか事業（CS 加算分）に対する意見書について

校長より、夢育やらまいか事業に対する意見書について説明があり、全員異議無く承認された。

（３）いじめ防止等のための基本的な方針

校長より、いじめ防止等のための基本的な方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

・けんか・いじめをプラスに捉える。学校側は注意深く対応している。（岩井委員長）

その他報告事項等

（１）城北小サポーターとつくる特色ある学校づくり年間計画

太田教務主任より、城北小サポーターとつくる特色ある学校づくりの年間計画についての説明があった。

学校支援CDの紙上委員より、サポーターの方達へお礼や、今後の活動についての説明があり、委員からは以下の発言があった。

・学校へ沢山足を運んで欲しい。CS・PTA・地域が一体となって繋がって行きたい。中川勝夫委員の朝の見守り活動について評価。（岩井委員長）

その他連絡

次回の運営協議会は6月26日（木）14時30分～16時00分、城北小学校会議室で行う。